

4年総合 みんなで守り育てよう

～十二町のオニバス～

私たち4年生は、これまで先輩方が行ってこられたオニバス池での活動を受け継ぎ、「オニバス池いっぱいにおニバスを咲かせたい」「咲いた花を全校に見てもらいたい」という目当てをもって、オニバスの栽培をスタートしました。

私たちが1年間行ってきた取組について紹介します。

4月〈水草とり、耕土作業〉

オニバスの花がたくさん咲いてほしいな！



池の中には、とてもたくさん水草がありました。水草が多いと、オニバスに栄養が行かず、育ちにくくなると学習したので、一生懸命に水草を取りました。また、オニバスが育ちやすい土にするために、肥料をまき、みんなで池の中を歩いて耕しました。池の中は歩きにくかったけれど、花をたくさん咲かせたいと思い、頑張って歩きました。

5月〈発芽から葉の観察〉

順調に育っていて、うれしいです。



オニバス池にたくさんの小さな葉が出てきました。池からいくつかオニバスを取り、観察しました。先輩方の資料を見ながら、「第一葉」「第二葉」などを見分けることが難しかったけれど、粘り強く頑張りました。「第五葉」まで見付けました。順調に成長していることが分かりました。

6～7月〈間引き、水草取り〉

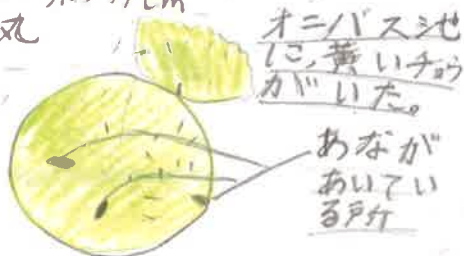
もっと取らないと、オニバスが大きくなりませんよ！



次々と小さな葉が出てきたので、熊手を使って、間引きをしました。また、水草も増えてきたので、休み時間に、みんなで協力して取りました。根元から取ることが難しかったです。オニバスの葉が大きくなって、きれいな花が咲いてほしいなと思いました。

8～9月〈生育観察〉

・色ー うろこむらさき
・大きさー 糸竹11cm
・形ー 丸



オニバスは、8月になっても大きくなりず、花も咲きませんでした。先輩方が残した記録によると、この時期なら花も咲き、葉は1mくらいになっているはずなのに、私たちのオニバスの葉は、大きい物でも、18cmしかありませんでした。どうして大きくなりませんか分からず、困りました。

10月〈諦めずに観察再開〉

5年生から、昨年度は11月頃に水中でオニバスが咲いたということを聞きました。今からでも遅くないと考え、9月から水草を取ったり、新しく肥料をまいたりして、観察を続けました。しかし、11月になっても、オニバスは咲きませんでした。そこで、本やインターネットで、大きくならなかった原因を調べました。

〈なぜオニバスが大きくならず、花も咲かなかったのだろうか〉

予想①〈肥料不足〉…肥料が十分ではなかったので大きくならなかったのかな？

予想②〈害虫や病気〉…葉を食べてしまう虫や、何か病気になってしまったのかな？

予想③〈気温〉…例年より暑かったので、オニバスの成長に影響が出たのかな？

11月〈オニバス教室〉



ひみうボ水族館の学芸員さんを迎え、4月からこれまでの取組や記録を見てもらったり、池の様子を見てもらったりしながら、大きくならなかった原因についてアドバイスをいただきました。

〈学芸員さんの話から分かったこと〉

- 気温が高いときは、太陽がたくさん出ている証拠なので、むしろオニバスが大きくなる。
- 害虫の可能性もある。6月くらいに葉に葉をぬることも大切である。
- 水草は、太陽がたくさん出ていれば増える。水草をたくさん取った記録があるが、6～7月にとると、かえって水草が増えてしまい、花が咲きにくくなる。水草が多かったことが原因として考えられるので、発芽する前から水草を少なくするとよい。
- オニバスには開放花と閉鎖花の2種類の花がある。学芸員さんに、私たちが書いた観察記録を確認していただくと、閉鎖花が咲いていた可能性があると分かりました。



(開放花)
私たちが咲かせたかった花



(閉鎖花)
水中で咲いていたかも？

閉鎖花が咲いていた？！

水の中だったけれど、閉鎖花が咲いていたかもしれないと分かり、うれしい気持ちになりました。でも、開放花を咲かせたかったです。

水草の増加が原因！

時期を考えて取らなければならなかったことが分かりました。水草を少なくしたいと思いました。

オニバス学習を通して

オニバスをたくさん咲かせて、全校のみんなに見てもらうことを目標に学習を進めてきましたが、達成することができませんでした。来年度こそ、オニバスがたくさんオニバス池に咲いてほしいと思っています。そのために、今回の学習で調べたことや分かったことを、3年生に伝えたいと思います。3月には、オニバス池の水草を少なくする作業を行いたいと思います。